



AA日本ニューズレター

NPO法人AA日本ゼネラルサービス(JSO)

No.136

AA日本 35周年記念集会 『伝えよう喜びと希望のメッセージ』

2010年 3/12 ~ 14 愛知県名古屋市
中京大学文化市民会館

2010年春、1975年3月日本で初めてAAミーティングが行われてから35回目の春を迎えます。

「春をまつ、迎える」などAAにたどり着いたころの私たちの気持ちの中にあっただけでしょうか、今「私たちは」まだお会いしたこともないAAメンバー・その家族・関係者の方々・新しい仲間をお迎えして、来年の春に名古屋で「AA日本35周年記念集会」を開催いたします。

この集まりがたくさんの人たちとともに分かち合えること、そして私たちの「喜びと希望」が一人でも多くの「まだ苦しんでいる人」に届けられることを信じています。

参加券の頒布が始まっています、9月末日までは¥3500(9月末以降は¥4000)です。

各グループ代議員、セントラルオフィスには申込用の郵便局振替票をお届けしてあります。どうぞお早めにお申し込みいただきますよう心からお願いいたします。

プログラム

メイン会場：中京大学文化市民会館 プルニエホール
名古屋市中区金山一丁目5番1号
東別院会場：名古屋市中区橋2-8-5

3月12日(金曜日)

14:00 ~ 受付開始

15:00 ~ 18:00

オープニングセレモニー(第1部)

19:00 ~ 21:00

オープニングセレモニー(第2部)

3月13日(土曜日)

9:00 受付開始

9:30 ~ 12:00 (東別院会場)

サービス/テーマ・ミーティング

ウォークラリー(野外)

13:00 ~ 15:00 (メイン会場)

世界のAA

12ステップミーティング

15:00 ~ 18:00

日本のAA(オールドタイマーの話)

19:00 ~ 21:00

テーマ・ミーティング(東別院会場)

3月14日(日曜日)

9:00 ~

受付開始

9:30 ~ 12:00

さよならセレモニー

ご宿泊のご手配は各自でお願いいたします、宿泊先リストは各グループ代議員、セントラルオフィスにお届けしてあります。なお、2010年は名古屋開府400周年の記念行事が予定されています。宿泊のお申し込みなど、どうぞお早目のご手配をいただくとよいお薦めいたします。

13日夜にディナーパーティーが開かれます、先着120名限りです。(別途申し込み¥3300)



AA75周年インターナショナル コンベンション

「未来への展望」

5年ごとの世界的な周年行事が来年、2010年にアメリカ、テキサス州のサンアントニオで開催されます。

世界各国、アメリカ・カナダ全州から数万人のメンバー・家族・友人たちが集まります。

この参加登録が今秋から始まりますので、ご計画の皆さま、関心を持っている皆さま、どうぞこれからのニュースをお見逃しなく、楽しみにお待ちください。

NY・GSOのホームページには簡単な現地案内が掲載されています、またよくある質問への回答も載っています。

以下いくつかを抜粋してご案内いたします。

いつ?・どこで?

2010年7月1~4日にアメリカ合衆国・テキサス州・サンアントニオ、ビッグミーティングはアラモドーム、

その他のミーティングはサンアントニオ・コンベンションセンター、地元のホテルで週末を通して開かれます。

インターナショナル コンベンションって？

1950年オハイオ州のクリーブランドで第1回が開催されて以来、AAという集まりの成長の一里塚として、ソプラエティーを祝う最高の瞬間として、参加者に感動的な体験を与える場となっています。

AAの誕生を祝って5年ごとに開催されるインターナショナル コンベンションは世界のAAの最大のイベントへと発展しました。

この目的は？

参加者がAAの第一の目的を再確認する機会となります。

また、世界中のAAプログラムの成功と成長を目の当たりにすることができます。

AAが生き生きと、活発に、盛んに活躍していて、地域的、国際的な社会資源であることを世の中に知ってもらう良い機会となります。

誰のためのもの？

インターナショナル コンベンションはアルコールクス・アノニマスに関心を寄せるすべての人たちにAAのミーティングを提供するものです。AAメンバー、アラノンメンバー、AAの友人たち、メディアやその他いろいろな専門職の人たち、またAAの「オープンミーティング」に参加してみたいというあらゆる人たちのためのものです。

費用は？

まだ参加登録料の具体的な数字は出ていませんが、おそらく\$100前後になると思います。このようなインターナショナル コンベンションの参加には常に登録が必要になります。

登録は？

インターナショナル コンベンションへの登録と宿泊予約は今年の8月から始まります。必要なすべての情報は8月にグループ、オフィスに送られます。

また現地での参加申込の受付はコンベンションセンターで2010年6月30日の午前から始まります。

宿泊は？

登録と同時に宿泊の手続きが始まります。秋に先着順で部屋が振り分けられます。現地の宿泊施設はAAに多くの部屋を用意してくれます。

登録料、宿泊料以外は日本の旅行会社と話し合っ「JSO」のパッケージを作る予定ですが、まだ具体的な数字は出ていません。これ以外でもセントラルオフィスが計画するプラン、個人的なプランなどいろいろなアイデアが出てくると思います。

情報は入手次第、皆さまにお知らせいたします。どうぞお誘いあわせの上、ご計画を立ててみてください。

メンバーも家族も友人たちも一緒に、75年の誕生祝いをテキサスのサンアントニオでやりましょう！

お問い合わせはいつでもご遠慮なく「JSO」まで。

AAにおける繰り返し

私たちにはそれが必要

「うちのグループは田舎にあるから」あるAAメンバーは言う。「だから、お互いの物語は暗記してしまっている

よ。ミーティングでは、同じ顔ぶれが同じことを繰り返し話し話すからね」

また他のメンバーは、「私たちのグループは、ニューカマーが来たときはいつでも、ステップ1について分かち合う」と述べている。

ある地区委員会のメンバーによると、「地域集会では、ほとんど毎回同じ報告や問題が取り上げられ、繰り返しになっている」という。

そして、ある信頼されたしもべはこう付け加えた。「評議会では 地方フォーラムでもそうだが 毎年、同じ質問と同じ回答が繰り返されている。」まるで、AAにおける繰り返しに対する苦情が繰り返されているかのようだ。

しかし、経験の長いAAメンバーは、これは必要なことだと説明する。「AAの中の役割は、輪番制があるために、少なくとも2年に1度は同じ疑問が浮上するものです。地方フォーラムの参加者は、75%~80%が初めての参加です。2回以上参加している私たちにとっては、聞き飽きた話でも、彼らにとってはすべてが新しいことなのです。毎回の評議会でも、その半数は新人です。だからこそ、同じ意見が定期的に挙がり、討議され、またもや床に投げ捨てられる もしろん新しい議題も出されますが」

共同創始者のビル・Wは、新しいメンバーが増え続けるAAでメッセージを伝えるためには、繰り返すことの必要性が本質的なのだということを理解していた。ビルの話や著書、特にAAグレープバイン誌(アメリカ/カナダの月刊誌)には、同じような記事を繰り返し投稿した。事実、私たちのソプラエティーは繰り返しによるものだ。

第一に、メンバーからメンバーへと続く、ソプラエティーの実例の繰り返しがある。かつては私たちのように飲んでいて人が、今では目を輝かせ、笑い、幸福で生産的な人生を送っている。私たちは最初にそれを、12番目のステップ活動をしてくれる人の中に発見する。そして自分が参加するミーティングの中で、定期的に繰り返し目にするのだ。

第二に、彼らの語る経験の繰り返しがある。経験の一つひとつは異なるが、彼らが感じた痛みや自己嫌悪、「今度こそうまく飲める」という思い込み、そして最後にはAAにつながるという経緯は、基本的にはみな同じなのだ。際限なく続く経験の繰り返しは、私たちに共感と、否認を突き破って変わろうとする意欲を起こさせる。

第三に、AAプログラムそのものの繰り返しがある。「どうやればうまくいくのか」を何百回と耳にし、ステップは暗記するほど繰り返し読む。ステップ・ミーティングでは1つずつ進み、終わりまでいったらまた最初に戻る。平安の祈りはミーティングだけでなく、日々の生活の中でも、支えとして何度も祈る。「酒に手をつけずにミーティングに行こう」「最初の1杯を飲まなければ泥沼に入りこむこともない」「今日一日」「手から離して神に委ねよう」 何十もあるAAの決まり文句をどのくらい耳にしただろうか？

これらは繰り返されることでより身近なものとなり、時にはジョークにすらなる。しかしこれらは、私たちにソプラエティーを与え、継続させる知恵でもあるのだ。

そして最後に、失敗の繰り返しというものがある。自

分には AA のやり方が必要なのだと痛感させられる繰り返しである。アルコールクである私たちは、発作的な飲酒によって、破壊的な結果を招いたことがよくあった。酒の種類や飲み方を変えてみては、今度こそは違う結果になるだろうと考えた。もう一度試してみて、やはり同じ結果を招いた。さらにまた繰り返した。私たちは、自分が納得するまで、同じ失敗を何度も何度も繰り返さなくてはならなかった。飲まないアルコールクとしての生き方の中にも、またその性質は持ち越される。12 の伝統が生まれたのは、幾度となく繰り返されたグループの失敗によるものだったことを思い出してほしい。同じように、AA がここまで強力に健全な共同体でいられるのは、習慣になるまで繰り返されてきた 12 ステップと 12 の伝統の実践によるものだという事だ。

(NY GSO 発行ニューズレターBOX459 vol.53, No.2 より翻訳転載)

若いアルコールクにメッセージを運ぶ

ある地域における課題

2004 年のはじめ、南フロリダのある地域の広報委員会が、メッセージを運ぶための特別委員会を立ち上げることを決めた。その委員会は主に、AA に参加するには若すぎると感じるために、AA につながるできない多くの若いアルコールクに対して、より効果的にメッセージを運ぶためのものである。

ある地区の広報委員会議長はこのように話す。「ヤング・メッセージ委員会の目的は 2 つあります。1 つは、すでに AA でソプラエティーを得ている若いメンバーたちに委員会の目的を説明すること。そしてもう 1 つは、学校や大学、市民センター、教会、裁判所など、どこに対しても、若いアルコールクにメッセージを運ぶことが重要なのだと彼らに理解してもらうことです。若いメンバーである彼らがこの委員会に参加することで、私たちが AA ミーティング以外で話す経験について分かち合うことができ、彼らにもそれができるようにサポートすることができます」

この取り組みはある電話から始まったという。

「『そちらに若いアルコールクはいますか？』ある地方大学の窓口担当者から電話が入りました。その大学には以前、AA メンバーがスピーカーとして訪問したことがありましたが、今回は若いメンバーを望んでいるため、前のスピーカーに悪いと感じたのでしょうか、彼女は遠慮がちに尋ねていました。そこで私はこのように伝えました。『AA は外部からのご指摘を歓迎しています。生徒たちにとって、若いメンバーのほうが、AA の回復のプログラムをより効果的に伝えるのであれば、よろこんで協力します』電話を切ったあと、私はあることに気がつきました。若い人たち、特に 10 代から 20 代前半の人たちの描くアルコールクのイメージというのは、固定されてしまっている 曲がった腰、引きずる足、ブルブル震える手でコップを握った老人 若い人たちのほとんども、そんなイメージと自分を重ねてみるなどできないでしょう。このことについて吟味し、他のメンバーとも話し合った結果、若い人たちを対象に、AA のあるがままの姿を見てもらう小委員会が発足したのです」この委員会は、アルコールクに対する時代遅れの、

誤解に基づいた固定概念を打ち砕くメッセンジャーたちという意味を込めて、“先入観を打ち砕く者たち”と名づけられた。若い人たちにメッセージを運ぶ 17 歳から 30 歳のメンバーを募るため、ヤング・メッセージ委員会は、地区や地域のグループにアナウンスし、グループのビジネスミーティングや通常の AA ミーティングの前に、この取り組みについてプレゼンテーションをするよう協力を仰いでいる。

「手を挙げてくれた若いメンバーに対して、さまざまな面でサポートをします。ステップや伝統に加えて、『若い世代と AA』や、イラスト付きの『10 代の若者たちへ』などのパンフレットにも精通している必要があることを説明します。また、自信を持ってスピーカーができるよう、『AA 以外の会合で話をするには』が役立つことが分かりました。これを読めば、自分が何を話すべきなのか、どのように要点をまとめるのか、自分の体験談をどこに盛り込めばいいのかなど、ヒントを得ることができます」

ワークショップも活気のあるものになるという。「例えば、服装について話すのもいいでしょう。ロングタイマーの何人かは、男性はネクタイを、女性はスカートを着るよう強く勧めるかもしれません。私の場合は、法廷で裁判官に会うときのような服装でと伝えます。服装に気をつけることで、よい結果を得ることができるのです」

「若い人たちと話すときには、彼らに対してなんのレッテルも貼らず、批判することもしないようにします。そしてときどき、このように言います。『みなさんは歯が痛ければ歯医者に行くでしょう？ 飲酒の問題があるなら、AA に行ってみてもいいわよね？ 刑務所に入ってから AA を知るのじゃ遅いわよね』」

「始まって間もないこの活動はすでに、予想を上回るほどたくさんの若いアルコールクにメッセージを運んでいます。私が知る限り、この活動は今までにない試みです。けれど、もしどこかで同じような活動があるのなら、それについて学び、問題と解決を共有したいと願っています。新しいアイデアというのはよいものです。それは、信頼されたしもべたちのあいだに情熱を生み出します。私は地区委員と経験を分かち合うために、四半期ごとの地域集会に 4 時間かけて参加しています。」こういったコミュニケーションを通じて、他の地区でも、広報委員会によるヤング・メッセージ委員会が発足されつつある。

広報委員会とヤング・メッセージ委員会は、他の地区や地域と経験を分かち合うことを歓迎している。「私は何年ものあいだ、引き裂かれるような思いを幾度となく経験し、1996 年に敗北を認めました。そして、AA の中で居場所とビッグブックと回復のプログラムを見つけたのです。これらは私に、サービスとは感謝の表れであり、単なる役割以上のものであるということを知らせてくれました。」

(NY GSO 発行ニューズレターBOX459 vol.52, No.1 より翻訳転載)

お待ちいたしました！

パンフレット『若い世代と AA』

『若者へのメッセージ(旧題)』改訂版が発行されました。価格も新しく 250 円！

AA プログラムを全世界へ、そして未来へ

どうしようもない呑んだくれたニューヨークの株式仲買人ビル W.は友人のエビー から「もう一人のアルコールックと経験を分かち合う」という飲まないで生きる-ソプラエティー-のためのカギを手渡されました。しかし初めの半年以上、自分自身が飲まないで生きるのが精一杯で、次の仲間にソプラエティーを手渡すことは失敗に次ぐ失敗でした。奮戦の末の1935年6月10日、ドクター・ポプの飲まないで生きる今日一日が始まり AA プログラムが誕生しました。

AA の記念日である6月10日には各国で国際協力のための献金が呼びかけられています。日本でも例年、国際協力献金を呼びかけております。昨年度は548,647円、お寄せ頂きました。どうもありがとうございました。その使い道は常任理事会で決定され、昨年は一昨年度残173,004円と合わせて721,651円のうちWSM事務局へ15万円、AOSM事務局へ30万円、そして国際出版基金へ15万円献金致しました。そして残り121,651円は、海外、特にアジア諸国の仲間の手助けのために用いる国際協力基金に充てました(結果的に未使用でした)。比率は変わりますが、本年も献金先は同じ予定です。

ところでビルはアメリカだけでなく全世界へ、現在だけでなく未来の仲間へもAAのメッセージを届けることを考えぬき行動し続けました。AAを不朽のものとするため、時に激しい反発に遭いながらも一体性の原理である12の伝統とサービスの原理である12の概念を仲間とともに確立していきました。この献身のおかげで74年も経った今日、極東の日本でも私たちが飲まないで生きることができるのです。

そしてビルは世界的な一体性を高めていくためにサービスにおける経験と力と希望を分かち合うワールドサービスミーティング(WSM)を立案しました。1969年に第1回目が開催され、第2回は1972年に、以後は2年に一度西暦偶数年に開催されています。昨年2008年は第19回がニューヨークで開催され、日本からは私一名が参加させて頂きました。これから各地域の地域集会、ラウンドアップなどで報告させて頂く予定です。よろしくお願ひいたします。

一方、アジア・オセアニア地域帯の分かち合いでありますアジアオセアニアサービスミーティング(AOSM)は、西暦奇数年に開かれます。奇数年の今年第8回がタイのバンコクで7月24-26日に開催されます。テーマは「手を差し伸べる」(Reaching Out)です。今回、次回2011年の議題が決定される予定です。「こんなことを話し合っほしい」と言うご要望がありましたら是非7月の中旬までにJSOまでお寄せ下さい。

おかげさまで日本のAAはWSM、AOSMに評議員を派遣するだけの献金があります。しかし世界にはメンバーが少なく評議員を送り出す最低限の分担金も負担できない国もまだ

数多くあります。経済的自立がAAプログラムの原理ですが、WSM事務局や他国からのスポンサーシップを受けて初めてWSM参加が可能となっている国々もあるのです。

AOSMも同様です。前回第7回の参加国は圏内43ヶ国中日本を含めわずか12ヶ国でした。英語圏のオーストラリア、ニュージーランドはAAの歴史も長く、メンバーも多いのですが、アジアはプログラム後発地域であり最悪の場合、AAがまだない、またあっても外国人向け英語ミーティングが主体という国も多いのです。今回はブータンが初参加するという嬉しいメールが入りましたが、これもAOSM等からの経済支援を受けて可能となりました。できるだけ多くの国が参加できるようにするために日本としてもWSM、AOSMに献金していきたいと思ひます。

そして国際出版基金ですが、AAの書籍を新たな言語に翻訳していくための基金です。口伝えだけではプログラムが曲解されていってしまうため書籍はなくてはならないものです。しかし12&12やビッグブックなどの基本的なものをすら翻訳されていない言語もまだ多数あります。新規に本を翻訳し、出版には莫大なお金がかかりますのでそのための資金を各国で出し合っているのです。

常日頃、多大な献金をして下さっているみなさまに更なるお願いをするのは恐縮の至りではございます。しかし献金は「金銭と霊性の触れ合うところ」です。国際協力献金を通してビルにならい、私たちも全世界、そして未来の仲間へ思いをはせようではありませんか!

WSM 後期評議員 まさよ

(なお例年まで国際協力献金は別枠となっております。今年度から会計上、通常の献金と同じ扱いとなります。毎月JSOから送付いたします献金一覧の表では最後の方に総額が毎月区切りの国際協力献金として記載されます。)

口座番号 00140-7-665844
加入者名 AA・JSO

通信欄に国際協力献金とご記入ください、また、グループ名なども併せてお願ひいたします。領収証の必要な方はご遠慮なくお知らせください。なお締め切りは8月末を一つの目安にいたします。献金の送金業務を滞りなくするための設定です。国際協力献金は通年で受け付けておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2008年実績

2007年度繰越	173,004円	
2008年度(8月末)	548,647円	
AOSM事務局		300,000円
WSM事務局		150,000円
国際出版基金		150,000円
国際協力基金		121,651円

編集・発行: NPO法人 AA日本ゼネラルサービス(JSO)

〒171-0014 東京都豊島区池袋4-17-10 土屋ビル4F Tel:03-3590-5377 Fax:03-3590-5419

<http://www.aajapan.org> jso-1@dol.hi-ho.ne.jp

(月~金) 10:00~18:00 (土・日・祝) 休